



約3ヶ月間に及ぶ休校を経て、ようやく学校が再開し始めました。休校が始まった頃はまだ肌寒い春の入り口でしたが、もうすでに蒸し暑くうっとうしい梅雨の季節を迎えました。気温変化が大きい季節ですし、マスク着用による熱中症なども心配されています。体調管理には十分留意してください。

①. 【 新型コロナ ⇒ 進路への影響は? 】

新型コロナの影響で、入試がどうなるのかまだはっきりと見えていません。さらに今年は大学入試改革も始まり、ただでさえどのような入試になるのか分からない状態です。このような状況が入試にどのような影響を与えるのか、受験生への調査結果や予備校等の情報から分析したいと思います。

● 受験生（現高3生）はどんな不安を感じているか？（ODKソリューションズ5/20発表）

・新型コロナウイルスの影響により受験に不安がある・・・9割以上

具体的な不安の内容（複数回答）

「学校ごとの対応（休校等）の差による勉強への影響」（63%）、

「試験の中止・延期の可能性」（60%）

「大学のオープンキャンパスに参加できない可能性」（58%）、

「試験内容や方式変更の可能性」（53%）

「受験へのモチベーションキープ」（51%）

「受験に関する情報収集」（36%）・「大学に関する情報収集」（34%）

・受験方法の見直しを検討している・・・・・・・・・・約3割

うち 63%・・・「AOや推薦入試での、早期受験を検討」

46%・・・「志望校のレベルを下げる」・・・これらの調査結果などから、

● 「総合型選抜（AO）、学校推薦型選抜（推薦入試）の志願者が増えるだろう。

ただでさえ不安な大学入試改革に加え、新型コロナの影響で未だどうなるか不透明な大学入試の詳細、感染第2波への警戒などから、早めに合格を決めたいという思いがあるからでしょう。

● 志望大学の二極化が進み、難関大志願者も増えそうだ。

超安全志向で、志望校のレベルを下げて、総合型・学校推薦型選抜で合格できそうな大学に早めに受かりたいと考える受験生がいる一方で、難関大の志願者も増える、とも予想されています。

新型コロナによって経済活動は低迷し、就職難が訪れると予想されています。それを見越して、就職難になっても、就職に強い難関大学を目指す受験生が増える。その結果、志望大学の二極化が進みそうだということです。

● 国公立大学は引き続き志願者を減らすのでは。

休校の影響で、特に理科・社会の遅れを心配する受験生が5教科型の国公立大を諦めて、受験科目の少ない私立大学に流れるのではないかと、予想されています。

● 地元志向が強まり、難関大の敬遠で首都近県の地元私立大が難化するだろう。

安全志向の広がり、すでにこの傾向は過去2年ほど顕著になっています。数年前までは滑り止めであった大学、定員割れしていた大学のいくつか、難化しています。

● 情報・通信・データサイエンス・AI（人工知能）系の学部・学科が人気を集めるだろう。

過去4年間、理系の単科大学は志願者を増やし続けています（千葉工大、東京電機大、東京工科大など）。不況の時には理系人気が高まると言われていますが、休校・休業中のオンライン授業や

テレワークなどを通じて情報系分野の重要性が叫ばれています。現3年だけでなく、現1・2年生の入試でもこの分野の人気は高まるのではないかと予想されています。

・・・このような予測の中、千葉西高校の3年生（35期生）はどうでしょうか？

②.【3年生 進路希望調査結果(6/1 実施)・・・こんな時こそ固い決意で！】

【現3年（35期生）の進路希望調査：第1志望校（上位10校）の推移と、34期生の合格・進学数】

	2年4月時点	2年10月時点	3年6月（今回）	34期生の合格・進学者数
千葉大	72名 ⇒	36名 ⇒	31名	合格 4名（進学 3）
明治大	44名 ⇒	30名 ⇒	29名	合格 15名（進学 10）
法政大	14名 ⇒	18名 ⇒	22名	合格 24名（進学 11）
立教大	6名 ⇒	18名 ⇒	19名	合格 5名（進学 4）
早稲田大	13名 ⇒	8名 ⇒	12名	合格 4名（進学 2）
千葉県立保健医療大	13名 ⇒	11名 ⇒	12名	合格 3名（進学 3）
東洋大	16名 ⇒	13名 ⇒	12名	合格 53名（進学 23）
青山学院大	25名 ⇒	9名 ⇒	11名	合格 7名（進学 4）
学習院大	2名 ⇒	6名 ⇒	10名	合格 12名（進学 5）
神田外語大	10名 ⇒	11名 ⇒	10名	合格 17名（進学 7）

● 今回の3年進路希望調査の結果は、半年以上前に実施した昨年10月の希望調査とそれほど大きな変動はありませんでした。前述のように、コロナ禍と入試改革への不安から「第1志望校のレベルを下げよう」と考えている受験生が少なくない中、千葉西高校3年生の多くは「第1志望を堅持している」様子が伺えます。もちろん「第1志望校になかなか手が届きにくい」状況ですから「早く決めて安心したい」・「第1志望を下げて楽になりたい」心理が誰にでも働くとします。しかしそのような理由だけで、志望校をランクダウンさせるなら、不本意入学・中退するといった事態にもなりかねません。先が不透明であっても、第1志望に全力で挑む決意を固めてください。

③.【入試要項の変更あり・・・志望校の要項・HPを頻繁にチェック！】

文部科学省は、5月15日、2021年度の大学入学者選抜（現3年が受験）のうち、総合型選抜・学校推薦型選抜（従来のAO入試・推薦入試）について、新型コロナウイルス感染症により、各種大会や行事、資格・検定試験が中止・延期したことで受験生が不利を被らないように配慮するよう、大学に要請しました。文科省の要請を受け、さっそく入試要項の変更を公表する大学が相次いでいます。

たとえば『筑波大学は、調査書を用いた主体性評価の点数化を見送る』ことを発表しました。また『英語検定取得を出願資格としていた大学が、要件の緩和を追加する』、さらには『総合型選抜の事前グループワークを延期する』など入試要項の変更が次々に公表され始めています。

さらに、萩生田文科大臣は5月29日、入試日程や出題範囲の見直しを検討し、6月中に大学入学者選抜実施要項を公表したいと述べ、安倍首相も、対応策を月内にまとめる考えを示しました。

「ただでさえ、大学入試改革最初の学年で不安が大きかったのに、英語外部検定試験や記述式問題導入の見直しなど、これまで散々振り回されてきた。そして今度はコロナの影響で入試の見直しを6月中に公表予定、、不明確なことがさらに増え、困惑している」・・・3年生の正直な気持ちだと思います。しかし思い煩っていても何も生まれません。今はただただ、第1志望を見つめ、落ち着いて受験勉強に取り組むとともに、定期的に志望校の募集要項をHPで確認し、変更即到応できるように心がけてください。また、心配な点、不明な点があれば、何でも進路室に相談に来てください。